

公益社団法人 日本てんかん協会 第46回全国大会 三重大会



てんかんの未来が見え(三重)～る
～共に考えよう 共に歩もう 未来のために～

日 程

2019年10月26日(土)～27日(日)

●第1日 開会式・全体会 12:50～17:00 ●第2日 分科会・閉会式 9:10～12:10

会 場

国立大学法人 **三重大学** 三重県津市江戸橋2丁目174
近鉄江戸橋駅下車徒歩約15分

共催：公益社団法人 日本てんかん協会
国立大学法人 三重大学、三重県精神保健福祉協議会
主管：公益社団法人 日本てんかん協会・三重県支部
運営：公益社団法人 日本てんかん協会 第46回全国大会運営委員会、中部ブロック

開催趣旨

てんかんは約1%の確率で発症するといわれ、たいへん身近な疾病です。てんかん医療は、近年注目すべき進展を見せていますが、その普及には落差があり、また、この疾病に対する正しい理解が不十分なこともあって教育、就労、その他の日常生活において不適切な処遇の事例も繰り返し発生しています。

「公益社団法人日本てんかん協会」は、てんかんのある当事者とその家族を中心に、医療、福祉、教育等の専門職や関係者との連携・協働のもとに、てんかん医療の充実と発展を希求するとともに、てんかんの正しい知識の普及、患者と家族の生活全般にわたる諸策の改善を図り「安心して暮らせる社会」・「偏見や差別のない社会」・「自立できる社会」を目指すことを目的として、活動を進めています。その大きい事業の一つが、毎年「てんかん月間」である10月に開催している全国大会です。

本年度の第46回全国大会は、三重県において国立大学法人 三重大学と三重県精神保健福祉協議会の協力の上で開催することとなりました。

全国大会には全国の会員に加え、一般の方や行政職員、学生の参加も見込まれ、一般社会への影響が大きいことを示しています。三重大会のメインテーマは「てんかんの未来が見え(三重)～る～共に考えよう 共に歩もう 未来のために～」です。これまでの日本てんかん協会が推進してきた啓発の結果、多くのスティグマを払拭してきましたが、より良い地域社会との共生を目指し、今後の社会構造の変化への合理的な対応の具体案を提言できる大会にしたいと考えています。

てんかんのある人もない人もどなたでも大歓迎です。皆さまのご参加お待ちしております。

大会へのお誘い

会長挨拶

公益社団法人 日本てんかん協会
会長 梅本 里美

歴史と伝統のある三重県で大会を開催できることを大変嬉しく感じています。

さて、三重大会のために支部を始め、関係者の皆さんで2年前から準備を進めてきました。大会テーマはユーモアを交えて「てんかんの未来が見え(三重)～る ～共に考えよう 共に歩もう 未来のために～」です。今の自分たちに必要なことを学び、これからの力とするための大会になるよう準備をしています。大会の醍醐味と言え、自分のことを話し、周りの人の話を聞くことです。自分では思いもつかない考え方に、日頃悩んでいることが解決できるかも…。明日を生きる力のために！どうぞご参加ください。

そして今大会は、国立大学法人三重大学と三重県精神保健福祉協議会と共催で開催します。また大会前日の10月25日(金)にはプレイベントもおこないます。日本てんかん協会として初の試みとなり、私たちもわくわくしています。

また、伊勢神宮をはじめとする観光ツアーでは歴史の深さを感じていただけるのではないかと私も楽しみにしているところです。ぜひお誘いあわせの上、ご参加ください。

大会運営委員長挨拶

公益社団法人 日本てんかん協会 第46回全国大会 運営委員長
三重大学大学院 医学系研究科 臨床医学系講座 精神神経科学分野 教授
岡田 元宏

観光・文化立県、三重県には、北から日本最大のジェットコースター「ナガシマスパーランド」、モータースポーツの聖地「鈴鹿サーキット」、世界に名だたる「松阪牛」「伊勢海老」、養殖真珠の「英虞湾(あごわん)」、世界遺産「熊野古道」と見どころ満載です。そして、令和元年10月の伊勢神宮では、神宮で最も古い由緒をもつ神嘗祭(かんなめさい)が行われます。心躍る三重県で私たちは皆様と一緒に、昼はてんかんと社会が向かうべき未来を考え、夜は体力をつけ(ご期待あれ!!)、大会終了後は心身ともにリフレッシュできる大会を企画しています。心に残る大会を!! 三重県津市でお待ちしております。

大会プログラム

前日

10月25日(金)

会場:国立大学法人 三重大学 三翠ホール

13:30~16:00 第52回三重県精神保健福祉協議会大会 表彰式・講演会

※詳細は「波」誌上でお知らせします。

1日目

10月26日(土)

会場:国立大学法人 三重大学 三翠ホール

12:50~13:00 開会あいさつ

13:00~13:45 特別講演1

「克服されるべき“てんかん” WHO総会で決議(WHA68.20)」

厚生労働省 元健康局長 福田祐典氏

13:45~14:30 開会式・表彰式・基調講演

14:30~15:15 運営委員長講演

三重大学大学院 医学系研究科

臨床医学系講座 精神神経科学分野 教授 岡田元宏氏

15:15~16:00 特別講演2

「私の役場の窓口はどこですか？ズバリ教えます!!」

厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課

16:00~17:00 特別講演3

「私は日本人に生まれて幸せだったのでしょうか？」

やまびこ医療福祉センター

国際抗てんかん連盟元第一副理事長 田中達也氏

講演終了次第

懇親会・祝賀会(大学内学生食堂)

2日目

10月27日(日)

会場:国立大学法人 三重大学 医学部内講義室など

9:10~11:20

分科会

第1分科会 「教育から社会へ」

第2分科会 「僕の悩みはてんかんだけじゃないんだ～」

第3分科会 「“こども”から“おとな”へ

キャリアオーバーが必要か？医療と社会」

第4分科会 「親亡き後:未来のために何をすべきか」

第5分科会 「もっと三重を知ろう!!」

9:10~11:20

公開講座

「てんかんの基礎知識と介助方法」

11:30~12:10

閉会式(三翠ホール)

12:30~

観光ツアー(伊勢神宮)

特別講演 1

「克服されるべき“てんかん” WHO総会で決議(WHA68.20)」

厚生労働省 元健康局長 福田祐典氏

2015年に、てんかんは克服されるべき疾病であることがWHO総会で決議(WHA68.20)されました。日本も共同提案国として大きな貢献を果たしました。この、WHO総会決議時に厚生労働省の審議官であった福田祐典氏に、国内連携・国際連携の中で日本てんかん協会が果たした役割も含めて、お話しいただきます。

特別講演 2

「私の役場の窓口はどこですか？ ズバリ教えます！！」

厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課

てんかんは、行政的には精神科疾患に分類されていますが、単一の病気というよりも、多くの神経・精神障がいと共存することから、小児科、脳外科、脳神経内科、精神科と多くの診療科がかかり、教育現場でも、普通学級～特別支援学校(知的障がい・情緒障がい)で担い、特定の教育資源を選べないのが現状です。障がい者支援制度も同様で、地域医療・教育・福祉制度を担う自治体の行政でも、窓口がケースバイケースで混乱しているのが正直なところです。厚生労働省の担当者から、より良い行政窓口の活用方法を分かりやすく解説していただきます。

特別講演 3

「私は日本人に生まれて 幸せだったのでしょうか？」

やまびこ医療福祉センター

国際抗てんかん連盟 元第一副理事長 田中達也氏

日本の中でも、てんかん診療・教育・社会支援の体制の地域格差があるといわれていますが、日本は世界の中で、てんかんと共に生活する者にとって良い国なのか知っていますか？こんな疑問を、長年、国際抗てんかん連盟の第一副理事長を務めてこられた田中達也氏にお話しいただきます。

第1分科会 「教育から社会へ」

てんかんのあるこどもの多くは、普通学級での教育から一般就労の機会を得ています。また、重篤なてんかん、知的障がい・情緒障がいのため、特別支援教育を受けるこどももいます。特別支援教育の現場では、高校卒業後の、生活能力の確保のために、個人の適正に応じた目標を立て、一般就労、障がい者就労、作業所、精神科デイケアで適応するための、生活能力の習得に努めています。近年、障がい者雇用率の対象に精神障がいも加わり、知的障がいではなく「てんかん」の病名で就労機会を得ることも可能になりました。ハローワークではこの障がい者就労をどのように進めているのかをお話いただき、新しい教育と就労の連携について考えてみたいと思います。

第2分科会 「僕の悩みはてんかんだけじゃないんだ～」

日々の生活の中で、悩みはつきものです。てんかん発作が治まっても、すぐには解決しない問題もあります。「こんなことで悩んでいるのは、自分だけではないのかな?」「発作は落ち着いたのに、なんだか上手くいかないなあ」「他の人はどうしてるのだろう…」そんな風に思ったことはありませんか?

三重大学医学部附属病院精神科では、自分達の困りごとや苦勞を語って聞きあう、当事者研究をしています。話題は病気のことだけではなくありません。人間関係や仕事、恋愛、お金、お薬など色々あります。病気や事情はバラバラですが、何かしら苦勞をしている点はみんな同じ。誰もが自分自身の苦勞の当事者であり、かつ、苦勞の専門家です。

当事者研究をご紹介しますとともに、会場にいらっしゃるみなさんと、ワイワイガヤガヤできたらなと思います。あなたと同じような苦勞をしている人も、いるかもしれません。そして、そんな研究仲間とつながれるかもしれません。自分自身と仲間と共に、苦勞をシェアして、対話が生じる分科会になったらなあと思っています。

ご家族、支援者の方もぜひご参加ください。

～自分の苦勞を持ち寄って、レッツ！当事者研究～

検索ワード「当事者研究ネットワーク」

第3分科会 「“こども”から“おとな”へ キャリアオーバーが必要か？医療と社会」

大人になったら、小児科から神経内科・精神科に転科することをキャリアオーバーといいます。キャリアオーバーは当事者と家族にとっては大きな不安をいただきます。実は小児科・神経内科・精神科の医療者にとっても大きな不安をいただきます。そして実はもう一つのキャリアオーバー問題として、学校から職場へのキャリアオーバーの問題もあります。このキャリアオーバーを医療・教育・就労の立場で話し合ってみたいと思います。

第4分科会 「親亡き後：未来のために何をすべきか」

てんかんなどの障がいのあるこどもを一生懸命に育てていて、ふと気づいたら、こどもはスマホと仕事はできるが、電気・ガス・水道、役所・銀行の使い方がわからないことに愕然としたという話はよく聞きます。頑張ればできるのに、なかなか覚えられないこどもの将来はどうなるのか？

さらに不安は強まります。何を覚えて、どのように経験値を積み、親としてどのように支援したらいいのか？こんな悩みを話しましょう。

第5分科会 「もっと三重を知ろう!!」

“おにぎりせんべい” “あずきバー” “ベビースターラーメン” “やわもちアイス”を知っていますか？実はそれ、ぜんぶ三重なんです!! てんかんもいいけど、社会勉強もしたい人には、ビンゴゲームをしながら三重県の勉強をしましょう!! ビンゴに勝てば、当然、賞品がもらえます。(参加費500円 当日集金)

公開講座

「てんかんの基礎知識と介助方法」

てんかんとはどのような病気なのでしょうか？いざという時に役立つてんかん発作の介助方法は？医師と看護師による迫真の演技が見所です。基礎知識や介助方法を学びたい方、また専門職の方も、ぜひご参加ください。

会場周辺地図



伊勢自動車道 津ICより約8km(車で約20分)

交通アクセス



近鉄電車「急行」で

名古屋より	近鉄名古屋駅	約60分	江戸橋駅	徒歩 約15分
京都・大阪より	伊勢中川駅	約15分		

近鉄電車「特急」で

名古屋より	近鉄名古屋駅	約50分	津駅	バス 約10分
大阪より	大阪難波駅	約90分		
京都より	京都駅	約110分		

JR「快速みえ」で

名古屋より	JR 名古屋駅	約50分	津駅	タクシー 約10分

三重大学

津駅から

- 津駅東口バスのりば「4番」から三重交通バスで、「白塚駅」(06系統)、「千里駅」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(むくもと)」(52系統)、「豊が丘」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「三重大学前」下車。(附属病院、医学部、工学部へは「大学病院前」下車。)
- 津駅からタクシーで約10分

江戸橋駅(三重大学前)から

徒歩で約15分

中部国際空港(セントレア)から

津エアポートライン(船)で津なぎさまちへ40分

- 「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
- 「津なぎさまち」からタクシーで三重大学まで約15分